

ゆりくみ研修NEWS



第8号

平成25年12月号

祝！論文掲載！ 当院の研修医2年目 始平堂永佳先生の執筆した英語論文が日本農村医学会(The Japanese Association of Rural Medicine)2013年12月発行の『Journal of Rural Medicine』に掲載されました。

本論文は、高齢者(90歳以上)へのペースメーカー移植に関する内容で、当院の指導医 島田泰之先生の指導を受け作成されました。始平堂先生は英語論文では医学誌初掲載です。

Case report

Pace Maker Implantation for Elderly Individuals Over 90 Years Old

(J Rural Med 2013;8(2):233-235) ★こちらから閲覧できます⇒ <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jrm/>

由利組合総合病院の研修では指導医による英語論文の指導も実施しています。この度、その指導の成果と本人の意欲的な姿勢が形となって認められ、医学誌への英語論文掲載へと至りました。始平堂先生は、今年度から院内で実施している英会話レッスンに参加するなど自己研鑽にも励み英語論文の執筆に取り組んできました。今後の活躍も大いに期待します！

また、次号(2014 9(1))には研修医2年目の劉嘉嘉先生の論文掲載が決定しています。

《始平堂先生からのコメント》

論文を書くこと、まして英語で論文を書くことは初めてだったので、自分に書けるわけがないと思っていましたし、最初は全く手つかずでした。しかし、島田先生が熱心に指導してくださり、次第になんとなく要領を掴めるようになりました。者の皆様はこの場をお借りしてお礼申し上げます。島田先生とは、暇を見つけては、内容について話し合ったり、英語表現の修

正をしていただいたりしました。島田先生に頼ってばかりでしたが、きちんと完成し、しかも雑誌に掲載していただけることになりました。自分ひとりでは到底成し遂げられなかった貴重な経験をさせていただき、島田先生を始め、関係



冬季の行事から

第18回 病院祭開催！ 11月16日

日、当院が現在の場所に移転してから18回目となる病院祭が開催されました。今年は創立80周年の記念の年ということもあり、地域のみなさんと楽しめる企画を！ということで「大じゃんけん大会」を開催しました。院長先生が音頭をとり、こどもさんやお年寄りまでたくさん参加していただき、大いに盛り上がり楽しい時間となりました。また、地元の小中学校の吹奏楽部や和太鼓の演奏などもあり、普段は待合スペースとなっているエントランスホールがまるで音楽ホールのように…。そして、恒例となっている「餅つき」には、先生方(ここで研修医の出番♪)が杵をふるいます。残念ながら、今年は研修医の先生方が参加できなかったのですが、先輩の駒形先生、郭先生ががんばってくれました。来年もパワフルな餅つき、楽しみにしています！



研修医抄読会 11月28日

この抄読会も今年7月からスタートして5回目を迎えました。前回でメンバーが一巡したため、今回は2回目の登場となる針金先生と劉先生に抄読をしていただきました。

針金先生は、Door-to-balloon Timeと死亡率についての論文を抄読。救急現場において、症例に対応した医師や研修医が迅速にすべきことは何か、という投げかけがありました。また、劉先生は航空機における飛行中の医学的緊急事態についての論文を抄読。実際にそのようなケースに遭遇したことのある駒形先生からも体験談が披露され、ディスカッションが行われました。いずれも救急に関するテーマであり、いざというときに自分がどのような行動をとるべきなのかを改めて考えさせられる抄読会となりました。次回の抄読会は、2月の予定です。

今回抄読した論文

○針金先生

Door-to-Balloon Time and Mortality among Patients Undergoing Primary PCI

N Engl J Med 2013; 369:901-90 9 September 5, 2013 DOI: 10.1056/NEJMoa1208200

○劉先生

Medical Emergencies on Commercial Airline Flights

N Engl J Med 2013; 369:876-877 August 29, 2013 DOI: 10.1056/NEJMc1308263



機内の蘇生セット



ゆりくみ研修NEWS

〈第8号〉

■由利組合総合病院ホームページ■

<http://www.yuri-hospital.honjo.akita.jp/>
 病院案内・診療科紹介・臨床研修情報・・・

☆協力型病院で研修します☆



臨床研修2年目もいよいよ大詰め。プログラムも残すところわずかとなってきました。当院の研修2年目始平堂先生と針金先生は、ローテイトで協力型の「横手興生病院」で精神科の研修を行います。12月・翌1月と1ヶ月ずつ横手市にしばしお引越しするのですが、冬の横手といえば大雪が心配ですね……。でも！病院の近所（歩いて行ける距離）にロードヒーティング完備のアパートを準備しました！雪かきの心配もいらないので安心です。

この他にも秋田県厚生連病院他県内各病院にてたすきかけによる協力型研修が行われており、秋田大学病院からは毎年、研修医の先生方に来て頂いております。また、今年は8月から9月にかけて雄勝中央病院から1年目の研修医の

先生が協力型として呼吸器科の研修に来てくださいました。

違う環境で学ぶというのもちょっと刺激になりますね。研修医同士の交流も深まったことでしょう。

ひとつの病院だけではなく、他の病院での研修を組み入れることによって、より多くのことを学び、大きな経験を積むことができます。今後も、協力型研修は盛んに行われることと思います。

横手のかまくら



横手興生病院



【協力病院】

【秋田県厚生連】 かつの厚生病院 北秋田市民病院 山本組合総合病院 湖東総合病院 秋田組合総合病院

仙北組合総合病院 平鹿総合病院 雄勝中央病院

【県内病院】 秋田大学医学部附属病院 本荘第一病院 市立横手病院 横手興生病院



第52回院内学術発表会が開催されました！



演

の分娩様式についての検討」を発表しました。始平堂先生は、院内学術発表会では初めての発表でしたが、弁舌さわやかでじつに堂々とした素晴らしい発表でした。始平堂先生は、研修プログラムの2年目の自由選択で6ヶ月にわたり産婦人科を選択しており、その研修成果を発表する形となりました。

12月6日当院の講堂において、第52回院内学術発表会が開催されました。これは、医療の質を向上させる事を目的とし毎年開催されています。病院内の各部門から一般演題15題(第1群～第4群)と特別講演1題が発表されました。産婦人科の軽部彰宏診療部長が座長をつとめる第4群では、研修医の始平堂永佳先生が登壇し、演題「当院における双胎



冬のスポーツを楽しむ！
 鳥海高原南由利原
 スノーモービルランド
 (矢島編)



ターが丁寧な指導してく
 れるので気軽にチャレン
 ジできます。スピード感
 あふれる豪快な体験し
 タースポーツを体感して
 みませんか？

welcome!
病院見学!

由利組合

検索

由利組合総合病院では、病院見学を随時行っております。病院の雰囲気、診療体制、医局の様子、研修医の活躍など実際に見て体感してください☆
 学年は問いません。ホームページからも申込みができます☆
 ☆ホームページはこちら☆
<http://www.yuri-hospital.honjo.akita.jp/>
 みなさまのお越しをお待ちしております！

～ゆりくみはすべての人にやさしい病院を目指します～



由利組合総合病院
 院長 菊地 順次
 TEL 0184-27-1300 FAX 0184-27-1277
 Web: <http://www.yuri-hospital.honjo.akita.jp>
 Email: info@yuri-hospital.honjo.akita.jp

～編集後記～ 今回は、論文掲載といううれしいビッグニュースがありましたので大きく掲載いたしました。毎日、多忙のなか英語論文まで手掛けていたなんて、始平堂先生すごいな～とただただ感心するばかりです。やはり、英語ができるっていうのは大事ですね……。さて、そろそろ冬休みに突入です。昨年は12月の初旬から大雪で大変でしたが、今年は如何に？スキー場にさえしっかり降ってくれば、あとは程ほどいいのですけど☆

総務管理課 佐々木美香